

シドニー日本クラブ  
第 475 号

JCS  
だより

9月号  
2025



**日本の祭り (Chatswood) は9月14日開催!**

**戦後80周年記念イベント成功裡に終了**

**JCS年次総会で新役員を承認**

JCS日本語学校三校がオープンデーを告知

イベント報告◎The Face of Jizo(父と暮らせば)に行ってきました

翔け!マイグラント◎英語勉強法(3)辞書

キネマ倶楽部◎グランメゾンパリ

# 理事会から

●2025年8月定例理事会 8月6日(水)7:00pm-9:00pm(対面とzoom)

渡部会長、コストロ副会長、水越副会長、リヒター会計担当理事、ホジュキンソン理事、斉藤理事、阿部理事、多田監事、マーン専門理事、松隈事務局長、新野、チャーカー相談役(欠席:林専門理事、小柳専門理事、近藤専門理事、神田領事)

●会員世帯数:344世帯(一般70世帯・学校274世帯) ●次回理事会:9月3日(水)

## ◆JCSフェイトの総括

- 多くの方に来場いただき、成功であったと評価された。
- 備え付けのお湯の利用ができなくなったため、次回は電気ケトルの持参を検討する。
- カウンスルに事前確認をお願いしていたが、当日トイレがすぐに故障していた。
- 紙芝居の最中に玉投げの練習が始まってしまった。

## ◆きものポップアップの報告

- 理事の手伝いが少なかったため、家族にサポートをお願いすることとなった。

## ◆戦後80周年記念イベント「Pass the Baton」について

- オンライン視聴者に、YouTubeリンクを直接届ける。
- ボランティア説明会を8月13日(水)19:00より行う。
- 当日ボランティア理事の集合時間
  - 9:00:水越、渡部、斉藤、多田
  - 9:45:林、リヒター、マーン、コストロ、小柳、松隈

## ◆JCSの年次総会について

- 日時:8月23日(土)15:00~16:00
- 場所:Dougherty Community Centre
- 資料の予算案に関して、調整後、承認された。

## ◆チャッツウッド日本祭りについて

- 名称:JCS Japan Festival in Chatswood 2025
- 日時:9月14日(日)11時~18時
- 集合時間:8:30am。ボランティアは8:30~18:30まで。
- オープニングセレモニー:12:00
- 担当:VIP(渡部)/本部(リヒター、マーン)/ステージ(多田、ヒデ)/ボランティア(マーン。説明会:9月10日(水)6:30、Zoom)/ワークショップ(斎藤)/金魚・ヨーヨー(コストロ、林、松隈)/着物(ホジュキンソン、チャーカー)/撮影:未定(データのアップロードはマーンが担当)
- ステージで使用するPCとUSBの購入が承認された。

## ◆その他

- Japan Maturi Festivalへの参加についてウェブサイトより申し込みをする(松隈)
- JCS忘年会(11月23日)に関して、Closedでの忘年会の案や、新年会(2月)の案が出された。

## ◆学校関係

- シティ校:15クラス、生徒数200名、134世帯  
スクールホリデー中に開催されたJCSフェイトでは、シティ校のソーラン隊が青い法被をカッコよく着てトップバッターを飾りました。みんな元気一杯にパフォーマンスを披露しました。シティ校は、金魚すくいと射的ゲームを担当し、多くの子ども達が楽しんでいました。今学期は、保護者を招待して小学部のスピーチ発表会や全校



生徒が一体となって行われる運動会あります。運動会には、卒業生も招待し今年も楽しく盛り上げていきたいと思えます。これから学校イベントや活動をInstagramで定期的に公開していく予定です。引き続き子ども達が日本の文化や日本語を楽しく学べる環境づくりを頑張っていきたいと思えます。

## ●ダundas校:11クラス、生徒数141名、96世帯

スクールホリデー中のフェイトは、予想外に温かい日となり、豚汁の販売は苦戦したが無事に終わり、新体制の役員7名での2025年後期運営チームが始動しました。

8月2日に旧暦に合わせて祝う予定だった七夕は大雨のため笹の提供を中止することになり、子供たちには少々残念な七夕になりました。現在、運営チームは役員の負担軽減を模索しており、七夕はより簡素、簡易な方向へ変えていく必要のある行事かと考えています。

9日に古本市、16日に百人一首教室を開催予定です。また23日からクラス毎に調理実習も開始します。和食や日本の食文化に触れる機会として、楽しい経験にしてほしいと考えています

新学期に登校した際にはホリデー中に設営されたと思われる工事用フェンスがグラウンドにぐるりと鎮座していました。土曜も建設予定時間に含まれているため、授業の大きな妨げにならないことを祈っています。

## ●エッジクリフ校:5クラス、生徒数58名、44世帯

恒例のJCSフェイトでは、エッジクリフ校定番のクレープとチョコバナナはもちろん、今年は本格的なコーヒーを提供しました。おかげさまで、昨年以上の売り上げを上げることができました。

二学期最終日に開校10周年記念式典を行い、新たなスタートを切ったエッジクリフ校ですが、今学期最大のイベントは運動会です。昨年初めて単独で開催した運動会ですが、限られた校庭のスペースを使った各種競技を見直し、今年の運動会をさらに盛り上げようと教員・運営委員・保護者一丸となって取り組みます。

また、三学期最終日(9月27日)にはジャパンファウンデーションでスピーチフェスティバルが行われます。参加生徒の健闘を祈っています。

# 2025年 シドニー日本クラブのイベント

9月



## チャッツウッドで日本の祭り

日時:9月14日(日)11時~18時

会場:Chatswood Mall, Chatswood

今年もシドニー北部チャッツウッドで日本の祭りを開催し、祭りを通じて日本文化を紹介します。



11月



## シドニー日本クラブ忘年会(予定)

日時:11月23日(日)(予定) 会場:(未定)

昨年は5年ぶりに開催となった日本クラブの忘年会。今年も11月に開催を予定しています。ラッフル抽選や、トリビアクイズで大いに楽しみましょう!



12月

## シドニーの日本の祭り

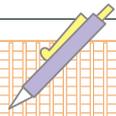
日時:12月7日(日)11時~18時

会場:Wentworth Park Sporting Complex

昨年、5年ぶりの開催となったシドニーの日本の祭りが、今年も12月に同じ会場で開催されます。JCSの後援イベントですので、ぜひ、ご家族でご参加ください。



編集委員会



## 編集委員会が筆者の会を開催しました

本誌に記事を寄稿されている筆者の方々計14人が集い、8月29日(金)にCityのArtHouse Hotel内の「Artasian」で筆者の会

が開催されました。この日初めて参加される方もいましたので、それぞれ担当されている記事と共に自己紹介をしていただきました。

食事の後に、筆者の会恒例のクイズが行われました。英語ことわざクイズ、都道府県クイズ、とんちクイズ、マッチ棒クイズが行われました。優勝は、「アートレビュー」「キネマ倶楽部」担当のKさん。惜しくも2位になったのは、レイアウト担当のMさんと「アートレビュー」「キネマ倶楽部」担当のFさん。優勝のKさんには、賞品のスパークリングワ



(写真左から)クイズで見事優勝のKさん、2位のFさんとMさん

インが贈呈されました。飲んで食べて遊んでおしゃべりして…楽しいひと時となりました。最後に記念撮影をし、編集長から毎月の執筆に対する謝意が述べられ解散となりました。

筆者は随時募集していますので、「こんなこと書いてみたい!」「書くことが好き!」という方は是非編集長ま

でご連絡ください。

マーンかおる

Email: k.murn@jcs.org.au



# シドニー日本クラブの年次総会を開催しました

2025/26年度のJCS年次総会が、8月23日(土)にChatswoodのDougherty Community Centreで開催され、出席者12名、委任状提出1名の合計13名の参加で総会が行われました。

年次総会では、事業報告と事業計画(案)、決算報告と予算(案)の審議と承認が行われ、さらに新役員の承認が諮られて、議案の承認及び理事会推薦の役員候補全員が承認されました。

## ■年次総会式次第

- 第1号議案 2024/25年度事業報告
- 第2号議案 2024/25年度収支決算報告
- 第3号議案 2025/26年度事業計画(案)
- 第4号議案 2025/26年度予算(案)
- 第5号議案 2025/26-26/27年度役員の承認

## ■2025-2027年度JCS新役員

- 渡部重信
- 阿部直子
- 斉藤なお子
- Hodgkinson 恭子
- 堀場健太
- 葛西哲也
- 林さゆり(親睦の会会長専門理事)
- Costello 久恵(シティ校代表専門理事)
- 小柳淳子(ダンス校代表専門理事)
- 水越有史郎(エッジクリフ校代表専門理事)
- Murn 薫(編集委員会編集長専門理事)
- 松隈由紀子(事務局長)
- Richter 幸子(会計)
- 岩佐いずみ(会計監査)
- 多田将祐(会計監査)
- Chalker 和子(相談役)



## ■イベントレポート

### 「The Face of Jizo:父と暮らせば(作・井上ひさし)」を観劇してきました!

渡部会長、マーン本誌編集長、斎藤理事が、次ページ掲載の「戦後80周年記念イベントPass the Batonを開催」でも紹介されている「The Face of Jizo」を観劇してきました。

原爆投下後の広島を舞台にした二人芝居。悲しく辛いお話ではあるのですが、ところどころにユーモアたっぷりのシーンも含まれていて、すっかり劇に引き込まれてしまいました。「The Face of Jizo」は9月6日までSeymour Centreで行われています。ぜひお見逃しなく!

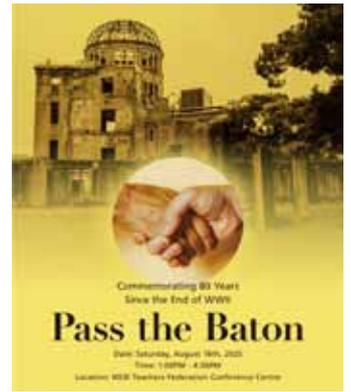


# 戦後80周年記念イベント「Pass the Baton」を開催

JCS主催による戦後80周年記念イベント「Pass the Baton(バトンを渡す)」が、8月16日(土)、Surry HillsのNSW Teachers Federation Conference Centreにて開催されました。渡部JCS会長による開会の挨拶をはじめ、来賓の山中総領事、NSW州教育省Deputy SecretaryのSummerhayes氏から挨拶が述べられ、開演となりました。

広島在住の被爆者、小倉桂子さん(88)による講演はスライドなどを織り交ぜながら約1時間行われました。小倉さんは、英語で被爆体験を語られる数少ない被爆者です。質疑応答では高校生からの質問に小倉さんが熱心に答えられ、講演終了時には、観客が総立ちするほどのスタンディングオベーションで、感動的な場面となりました。

その後、生演奏とともにイベントパートナーのOmusubi Productionによる「The Face of Jizo」(井上ひさし作「父と暮らせば」)の一節の朗読が行われました。



講演される小倉桂子さん

このほか会場では、広島と長崎に落とされた原爆の実態を伝える写真パネルの展示、折り紙ワークショップ、関連映画の上映会なども行われました。

このイベントは、NSW州の高校生をはじめ約400人の観客が熱心に被爆当事者から実体験を聞くという実りあるイベントとなりました。

イベントの企画を立ち上げ、当日の司会を務めたJCS会員の新野令賀さんをはじめ、役員の水部会長、水越、コステロ両副会長、松隈事務局長、リヒター会計、林親睦の会会長、マーン本誌編集長、斎藤理事、多田会計監査がイベント運営を切り盛りしました。世界で唯一原爆を落とされた国、日本の国民として、忘れてはいけない日のことを若い世代に語り継ぐことができた有意義なイベントでした。



小倉さん(前列中)を囲むJCS役員とMCの新野さん(前列右) ©Hiroki Imura



小倉さん(中央)と山中総領事、教育省、スポンサーなど来賓の方々 ©Rom



会場を飾る折り鶴と着物クラブの方々



朗読劇の一節も披露



渡部会長と小倉桂子さん



写真パネル展示



# 親睦の会 だより

## 会員 募集

シドニー日本クラブ会員の親睦と交流の集いです。和やかな雰囲気の中、和食弁当を食べながらの情報交換後には、様々な趣向を凝らした内容で楽しんでいます。遠足や野外活動も行っています。

JCSシドニー日本クラブの会員でしたら入会金は不要。年齢・性別・国籍は問いません。ビジターも大歓迎です。新しい輪を広げましょう。お気軽にご参加ください。

**親睦の会役員** 会長：林さゆり、副会長・事務局長：松下友紀  
ボランティア：カーター洋子、竹内美佐子、橋本克子、ヨハンソン治子

### 【チャッツウッドでの日本祭りを楽しみましょう】

■日時：2025年9月14日(土)午前11時～午後6時

■会場：Chatswood Mall

チャッツウッドの街が、日本の色に染まります。JCSシドニー日本クラブが主催し、祭りを通して盛大に日本文化を紹介します。日本食などの屋台が軒を連ね、着物販売や金魚すくいも楽しめます。特設ステージでは様々なパフォーマンスも繰り広げられます。踊りなどに出演なさる方々は、普段の練習成果を発揮して下さい。

万が一、怪我等なされた場合に備え、救急隊員がJCS本部近くで待機していますので、適切な処置をしてもらってください。

活気溢れる時間を一緒に過ごしましょう。

出欠の連絡は不要です。ご都合よろしい時間にご家族やお友達をお誘いになってお越しください。

### 【お知らせ】

■2025年8月9日(土)年次総会を開催

年次総会を開催して、2024年-2025年の決算報告・行事実績報告が行われました。副会長兼事務局長のピアス康子さんと、会計の加藤真理さんは任期満了に伴いまして、ご都合により次期の継続は控えたいとのことでした。これまでのご貢献、ご尽力に深く感謝申し上げます。これからは、一会員として、親睦の会を楽しんで頂ければ嬉しく思います。

尚、会長には林さゆりさんが再選任されました。新しい役員については次号10月号に掲載させていただきます。お手伝いのボランティアには、カーター洋子さん、竹内美佐子さん、橋本克子さん、ヨハンソン治子さんが継続して下さいます。

今後は、皆さまに楽しんで頂ける遠足や、訪問の機会をより多く企画して楽しみたいと思いますので、引き続きよろしくお願いたします。

■2025年10月11日(土)12:00～14:15

チャッツウッド・ドガティセンター

### 「心に響く朗読のひととき」

多忙な日常から少し離れ、文学と言葉の世界に浸る「朗読の会」を開催します。当日は、朗読の会「声」の皆さまにお越し頂き、宮沢賢治の「注文の多い料理店」、星新一のショートショート「新発明のマクラ」などと、作家の紹介も交え、普段はなかなか味わえない特別な時間をご堪能頂きます。

お友達をお誘いになってお越しください。参加申し込みは、林さゆり会長まで。



# JCSのクラブライフ



## シドニーソーラン踊り隊

毎週土曜日に小学校の体育館で練習をしています。

私たちの踊りが少しでも日豪文化交流に結びつくようにと様々なイベントで踊ります。一緒に踊りたい方、大歓迎！お気軽に練習にご参加ください。

練習日: 毎週土曜日2時～3時

場所: Cammeray Public School (Palmer Street, Cammeray)

お問い合わせは、Email: [jcs.soran@gmail.com](mailto:jcs.soran@gmail.com) まで。

<http://sydneySORAN.wix.com/dancetroupe>



## JCSフラアロハ 笑顔で踊るハワイアンダンス

体を動かす気持ち良さを感じながら、人と人との触れ合いを大切に、明るく楽しく美しく、健康第一をモットーに和気あいあいと踊っています。毎年数回のパフォーマンスでは思い切りオシャレなハワイアンスタイルで笑顔で踊ります。

ご参加されませんか？

練習は毎週火曜日11時～12時30分 Chatswoodで行っています。お問合せは、Email: [jcshulaaloha@gmail.com](mailto:jcshulaaloha@gmail.com)

フラアロハ事務局までお気軽にどうぞ。



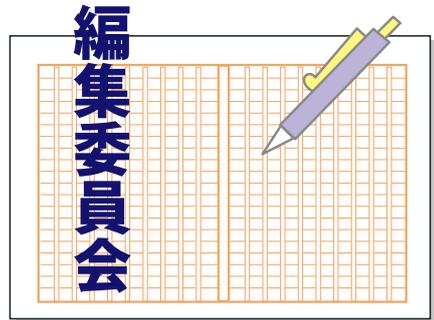
## JCSソフトボール部

ソフトボール大会は毎年5月と11月の2回開催しています。2023年春季大会3位、2024年秋季大会2位、春季大会優勝！

JCSソフトボール部では女性選手を急募中です！一緒に優勝目指しませんか？家族で応援に来ませんか？興味のある方は是非、ご連絡ください。

メール: [adasada@hotmail.com](mailto:adasada@hotmail.com) または、

電話: 0402-048-570 (ソフトボール部部长 さだのり 安達定儀)



## 編集委員会

シドニー日本クラブの会報誌「JCSだより」を編集しています。会員からの投稿をお待ちしています。

また、誌面作りに興味のある方、一緒に会報誌を作りませんか？

興味のある方は是非、ご連絡ください。

メール: [k.murn@jcs.org.au](mailto:k.murn@jcs.org.au) (JCSだより編集長 マーン薫)



## 教育支援委員会

シドニー日本クラブの日本語学校三校の運営に関する支援を行っています。その他、継承日本語教育についてのセミナー活動なども行っています。

お問い合わせは、以下までお願いします。

メール: [jcs@japanclubofsydney.org](mailto:jcs@japanclubofsydney.org) または、

電話: 0421-776-052 (JCS事務局)



## スピーチ発表会がスタート

今年もシティ校恒例行事のひとつ、スピーチ発表会の時期がやって参りました。2学期の後半からそれぞれのクラスでスピーチのタイトルを検討したり、文章にする前段階のアイデアを出し合ったり、文章の構成を学んだりしながら準備がはじまります。自ら考え・伝えたいことを文章として書き・みんなの前で発表するという過程は第2言語として日本語を学んでいる多くの子どもたちにとって難易度が高いものです。先生方の丁寧なご指導や保護者の皆様のご協力と励まし、練習の声かけや見守りのサポートのお陰で子どもたちにとっては日ごろの学習の成果を発表するよい機会に、ご家族にとってはお子様の頑張りの様子を垣間見ることが出来る行事となっています。

今年もトップバッターのクラスよりスタートしたスピーチ発表会。発表の前の緊張した顔、発表が終わったあとのホッとした顔、記念メダルをもらった



時の誇らしげな顔。一人ひとりの生徒たちが見せる様々な表情から目が離せません。これから発表のクラスの生徒たちもきっと一生懸命に練習した成果を見せてくれることでしょう。デジタル時代になり、子どもたちの課題やテストもだいぶオンライン化が進んでまいりました。自分自身を振り返ってもなかなかペンをとって思いをまとめたりする習慣が減ってきたように思います。学んだ日本語を使い、自分の思いを紡いでいく作文のような学習の貴重さや大切さを改めて見直したいところです。

また、3学期の後半には運動会もごぞいます。今学期は特にイベントが盛りだくさんのシティ校です。「日本語を学ぶ、日本語を使う」ということを机上の学習だけに留めず、子どもたちが様々な経験を通して更に深めてもらえるよう、みんなで見守っていきたいと思います。

## クラス紹介 えんがわ組



Y5~Y6の11名が在籍するえんがわ組は、毎週にぎやかで楽しい雰囲気の中、日本語の学習に取り組んでいます。日直を積極的に引き受けてくれる生徒、周りを見て先生をそっと支えてくれる優しい生徒、自分のペースで



着実に努力を重ね学習を頑張る生徒など、一人ひとりの個性が光り、そしてまとまりもある素敵なクラスです。集団としても成長を見せてくれており、毎週生徒たちからたくさんの元気もらっています。1学期・2学期は、避難訓練やお買い物市といったイベントに加え、遠足でミュージアムにも出かけました。私が細かく指示をしなくても、それぞれが自分たちで判断し考えて行動している姿に、頼もしさを感じました。この3学期には、スピーチ発表会や運動会が予定されています。これまで学んできたことや積み上げてきた力を、思いきり発揮できる場として、さらに成長する姿が見られることを楽しみにしています。



学習面では、小学校三年上の国語の教科書を使用して学んでいます。これまで学習した漢字の復習に加え新しい漢字や表現を学び、また毎週コツコツ教科書の文章を読んで力をつけています。ホリデー明けには生きた日本語に触れてきた経験を聞かせてくれる生徒も多く、日本語を通じて人とのつながりや文化を体験している様子が伝わってきました。これからも、日本語を通じて世界が広がる楽しさや喜びを感じながら、前向きに学習を続けていってほしいです。えんがわ組のみんなのさらなる成長を、担任としてとても楽しみにしています！

(担任: 桑原知歩)



## JCS日本語学校ダundas校 JCS Japanese School Dundas

学校 Dundas Public School (85 Kissing Point Road, Dundas NSW 2117)

連絡先 PO Box 1072, Dundas, NSW 2117 授業 毎週土曜日/9:30~12:15

Email jcs-jpschdundas@live.com Web <http://dundas.japanclubofsydney.org/index.html>

### クラス紹介 大河組

今月は、ダundas校最高学年「大河組」の紹介です。大河組となって8年目となりますが、今年から『ハイスクールクラス』となりました。今年、男子4名、女子12名の総勢16名(9年生~12年生)という、これまでで最大の生徒数です。これら16名のうち6名は大河組3年目となります。宿題のチェックや漢字テストの採点等々、一人では厳しいので、アシスタントの望先生の手助けを借りての授業となります。



一学期の写真

一番上のクラスということで、この先数年、このクラスに在籍するであろう生徒と下から上がってくるであろう生徒の兼ね合いもあり、授業内容を考える所から苦慮しています。日本の中学校の国語教科書のみを頼ってしまうと、生徒たちが興味を持ちそうな単元は限られてきます。

ということで、1学期開始時に、生徒たちに、どんなことを学習したいか聞いてみました。意外といっちは叱られるかもしれませんが、返ってきた回答は『日本史』でした。『日本史ですか…。』実は、私、学生時代、日本史は好きな教科ではありませんでした。『それを教えるというのはちょっとなあ…。』というのが、正直なリアクションでした。

1学期は『鎖国』、2学期は『開国と文明開化(軽く明治維新も)』について、動画も取り入れて学習してもらいました。『教えることは学ぶこと』とも言われますが、授業の準備のために、こちらが学んだことも多かったように思います。

例年、3学期はこれまで、『原爆』、『特攻隊』、『ひめゆり部隊』など戦争に因んだものを授業に取り入れてきました。今年、『樺太に残された日本人』という動画を観て、『国策による移住・移民』について生徒たちに理解してもらいたいと考えております。

今年、現地校の都合や選挙などで、行事日程が例年と異なることが多々あるのですが、3学期の調理実習も少し異なっていました。通常は学期の中盤以降に日程が組まれるのですが、大河組では3週目を予定していました。ところが、この日は既に欠席予定の生徒が数名



運動会

いることが判明し、最初は、『仕方ないねえ』ということで、変更する予定はなかったのですが、「日程を変更して、調理実習に参加できるようにしてあげればいいんじゃないですか。」と、他の生徒からの声。こちらの授業計画と照らし合わせて8月最終日を提案しましたが、却下され(笑)、急遽第二週目になってしまいました。3学期初日の3時間目最後の30分で、3つに分けたグループで、誰が何を持参するかを決めることになってしまったのですが、さすが、全員が9年生以上ということで、この作業、生徒だけでパッパッと済ませてくれました。



調理実習

そして迎えた調理実習ですが、忘れ物もなく、全員が協力し合って、餃子(108個)と焼きそばを完成させることができました。皆で試食を楽しみ、最後の片付け・洗い物までしっかりとやってくれました。急な日程変更にもかかわらず、保護者の皆さまにも準備にご協力頂きましてありがとうございました。

大河組からの卒業生は毎年いるのですが、今年も3名おります。全員、これまで何年間も毎週頑張ってダundas校に通い日本語の勉強を続けてきました。3学期後半・4学期と残すところあと少しですが、楽しんで良い思い出を作って下さい。そして、卒業後も何らかの形で日本語の学習を継続してってください。

(担任:大上祐一)



## JCS日本語学校エッジクリフ校 JCS Japanese School Edgecliff

学校 Ascham School (188 New South Head Road, Edgecliff NSW 2027)

連絡先 PO Box 1171, Potts Point NSW 1335 電話 0413-430-726 (授業日13:30-17:00) 授業 毎週土曜日/14:00~16:35

Email jcs.edgecliff@gmail.com Web http://edgecliff.japanclubofsydney.org

### 日本の素晴らしい教材が大活躍

エッジクリフ校では、日本語学習が楽しくできる優れた教材を推薦して、多くの先生方が授業の中で使用できるようにサポートしています。このサポートができるのも紙芝居・パネルシアター・エプロンシアターの達人、こうこさんのおかげです。先生たちのために行事やその週のトピックに合わせて各クラスで実演したり、ビデオをシェアしたりと大活躍です。さくら組では、避難訓練の紙芝居ビデオや猿カニ合戦のエプロンシアター、七夕パネルシアターで生徒たちの心を驚掴みにしていました。これからも生徒が楽しく日本語学習に取り組めるようお手伝いをお願いしたいと思います。この場をお借りして、こうこさんありがとうございます！



### クラス紹介 さくら組(国際クラス)

みなさん、エッジクリフの国際クラスの存在をご存知でしょうか。エッジクリフ校に国際クラスができてもう3年になります。その名の通り日本のバックグラウンドがない子どもたちが楽しく日本語を学ぶクラスです。嬉しいことに日本語を自ら学びたいという子どもたちが多い現在のさくら組は、4歳から14歳までの幅の広いクラスになっており、日本語学習歴4年目に突入する生徒もいれば、今年に入ってひらがなを学び始めた生徒もいま



す。レベルの差はありますが、ゲームや文化行事の時間は一緒に助け合いながら楽しく学んでいます。アシスタントが増えたことにより、トピック学習の時間はクラスを2つのレベルに分け、それぞれのレベルに合った学習指導が可能になり、昨年よりも更に生徒の学習ニーズに寄り添った授業になってきていると思います。『日本語を勉強したい！』という強い気持ちに応えられるよう、日々どんなことを授業に取り入れたら子どもたちが楽しく学べ、更に日本語の力を伸ばしてあげられるのかを考えながら授業計画をしています。

#### ■生徒の紹介

◎メイサンくんは将来科学者になりたい7歳の男の子。家族の出身国はレバノンでアラビア語も話します。そんな彼は中国語にも興味があり、特に漢字は大の得意です。様々な言語に長けていて、その言語を駆使して素晴らしい科学者を目指しているそうです。



◎ジョジーさんは香港出身の11歳の女の子。学校のホリデーにはいつも香港に帰国し、仲の良い日本人のお友達と会うことを楽しみにしています。そのお友達と日本語で会話ができるようになりたい！という強い意志を持ち、毎週一生懸命課題に取り組んでいます。広東語・英語・日本語と彼女も様々な言語を操れる一人です。

◎チャーリーくんは日本人のお父さんを持つ8歳の男の子。お家では全く日本語を使わないようですが、二学期から入学し、あっという間にひらがなを習得しました。日本語でするゲームはとても積極的でいつも前に出てクラスをリードしてくれます。日本語の力がグングン伸びていて、毎週一緒に登校してくる日本人のおばあ様も驚かれています。

ほかにもたくさんのお子どもたちとその家族が日本や日本語に興味を持ち、エッジクリフ校の仲間として在籍してくれています。さくら組のお子どもたちがJCSの校歌のようにオーストラリアと日本に大きな虹の橋を掛けてくれることでしょ！その手助けができるよう、これからはしっかりとサポートさせていただきます！エイエイオー！

(担任代講:川嶋靖代)

# JCS日本語学校 オープンデー 2025年10月25日(土)

## JCS日本語学校シティ校

Ultimo Public School, 47-53 Jones Street, Ultimo



- 幼児部 ▶ 10:00am～受付開始  
10:20am～学校説明会 & 体験授業
- 特別支援クラス ▶ 12:15pm～受付開始  
12:30pm～体験授業

対象年齢 ▶ 幼児部:2026年1月31日時点でおむつが取れている3歳半以上のお子様  
特別支援クラス:2026年1月31日の時点でKindy以上に在籍のお子様

お問い合わせ ▶ [student.city@jcs.org.au](mailto:student.city@jcs.org.au)

## JCS日本語学校ダundas校

Dundas Public School, 85 Kissing Point Road, Dundas



- 申込期間 ▶ 9月1日～9月30日
- 申込方法 ▶ ダundas校ホームページの入学申込アンケートより、申込期間内にお申し込み下さい。

<http://dundas.japanclubofsydney.org/index.html>

- 入学条件 ▶ 生徒が日本語の指示に従って行動できること。  
保護者が日本語を理解でき、当校の運営にご協力頂けること。  
2025年12月31日までに満4歳になっていること。

## JCS日本語学校エッジクリフ校

Ascham School, 188 New South Head Road, Edgecliff



- 体験入学 ▶ 14:00～15:00
- 対象年齢 ▶ 幼児部は入学時(2026年1月末)に3歳半以上で、トイレトレーニングがすんでいるお子様。

幼児部以外のお子様もレベルに合ったクラスに体験入学可能。要相談。

お問い合わせ ▶ [edgecliff@jcs.org.au](mailto:edgecliff@jcs.org.au)

# JCS 日本の祭り

# JAPAN FESTIVAL

主催：シドニー日本クラブ

The JCS Japan Festival in Chatswood 2025 is to celebrate Japanese culture and cross cultural friendship within multicultural society. This event is for everyone who loves Japan as much as we do. You will find many Japanese festival attractions at the JCS Japan Festival including Japanese food stalls, traditional arts and crafts workshops, a vibrant kimono stall and stage performances.

## IN CHATSWOOD 2025



Drop by our Japanese tea, Ikebana, calligraphy and Origami workshops where you can learn more about the traditional Japanese art.

We will have an amazing line-up of performances ranging from traditional Taiko drumming to Karate martial arts.

Enjoy some delicious festival food at our various stalls.

Come join us with your families and friends and enjoy the time you spend at JCS Japan Festival.

Date & Time

**Sunday**  
**14th September 2025**  
**from 11am to 6pm**

Venue

**Chatswood Mall**

Organiser

Japan Club of Sydney Inc.

[jcs@japanclubofsydney.org](mailto:jcs@japanclubofsydney.org)  
[www.japanclubofsydney.org](http://www.japanclubofsydney.org)



Japan Club of Sydney

**EMERGE**



# 総領事館からのお知らせ

※在シドニー日本総領事館からのメールマガジンの抜粋です。総領事館からメールマガジンが発信されていますので、こまめに最新情報を得るようにしてください。

## 1. 領事情報

### (1) マイナ免許証

3月24日から、運転免許に関する情報をマイナンバーカードに記録した「免許情報記録個人番号カード」(通称、マイナ免許証)の運用が開始されました。しかし、マイナ免許証はカード券面に運転免許証の情報が表示されず、日本国外では記録された情報を読み取ることができず、当地では無免許であるとされる可能性があります。ついては、当地で運転等される場合には、従来の日本の運転免許証を取得し、当地に持参するようにしてください。詳細は以下のリンク先からご確認ください。

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/kaigai/licence/index.html>

### (2) 国外転出者用マイナンバーカードの申請・交付

昨年5月27日から在外公館における国外転出者用マイナンバーカードの申請・交付業務が開始されました。本件マイナンバーカードの申請対象者は、2015年10月5日以降に国外転出届を提出した日本国籍者(未成年者も含む)となります。具体的な申請・交付方法等についての詳細は以下のリンク先からご確認ください。

[https://www.sydney.au.emb-japan.go.jp/itpr\\_ja/my\\_number\\_card.html](https://www.sydney.au.emb-japan.go.jp/itpr_ja/my_number_card.html)

### (3) 「たびレジ」に関するお願い

3か月未満の旅行や出張などの際には、海外滞在中も安全に関する情報を随時受けとれるよう「たびレジ」にご登録をお願いいたします。詳細は以下のリンク先からご確認ください。

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/index.html>

### (4) 「DV被害者支援のための相談窓口」のお知らせ

当地でDV被害者等を支援する団体「Bonnie Support Service Ltd」と提携し、ドメスティック・バイオレンス(DV)で悩んでいる邦人のための相談窓口を開設しています。対象はNSW州にお住まいの邦人女性(及び子供)で、相談者は日本語によるサービスを受けることができます。

DV被害でお悩みの方は、まずは下記相談窓口までご相談ください。(NSW州以外の地域にお住まいの方については、情報提供やお近くの相談機関のご紹介を行います。) 詳細は以下のリンク先からご確認ください。

<https://www.sydney.au.emb-japan.go.jp/document/japanese/consul/20230828dv.pdf>

## 2. 治安・安全情報

### シドニー郊外部における拳銃発砲事件の発生

ここ半年の間、主にシドニー南西部の郊外においてギャングなどの犯罪組織間の抗争を背景とした拳銃発砲事件が発生しており、民間人の死傷者も出ています。

当地警察は7月上旬に大規模な組織犯罪の取り締まりを行い、多くの犯罪組織の構成員を逮捕したものの、抗争や発砲事件の解決までには至っていないと報じられており、犯罪組織同士の報復や主導権争いを目的とした抗争の更なる活発化も懸念されます。

ついては、以下のとおり拳銃発砲事件等を認知した際の注意点をまとめましたので、参考にいただければ幸いです。

#### ① 野次馬や群衆を見かけた場合

犯罪がまさに発生している(しようとしている)可能性もあることから、すぐにその場を離れてください。

#### ② 銃声が聞こえた場合

1. とにかく「伏せる」、2. 次に「逃げる」、3. 逃げられない場合には建物の陰などに「隠れる」という3つの動作を行ってください。

#### ③ 万が一被害に遭った場合や邦人が被害に遭ったとの情報に接した場合

警察(000番)に通報し対応を依頼するとともに、当館にご一報ください。

## 総領事館からお願い(在留届の提出)

外国に3か月以上滞在する日本人は、最寄りの大使館や総領事館等に「在留届」を提出することが義務付けられています。大規模な災害が発生した場合など、当館では、オーストラリアの関係当局に連絡を取って邦人の被害について確認をする一方、在留届を確認して該当地域にお住まいの方に、直接ご連絡して安否を確認することがあります。在留届は、このような災害時の安否確認にも使用いたしますので、届出内容に変更(住所や同居家族の変更等)が生じた場合には「変更届」を、帰国の際には「帰国届」をご提出いただくようお願いいたします。

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/RRnet/index.html>



佐藤至子



## 第127回 金魚とメダカの話

家で飼育する魚といえば、私にとって身近なものは金魚とメダカである。

かつて私が住んでいた家にはワキン、リュウキン、コメットなどの種類の金魚がいた。今でも記憶にあざやかなのは、私が小学生のころに飼っていた、白くて頭のところに赤い模様があったコメットのことである。そのコメットは体が大きく、尾もととても長かった。その尾をひらひらさせて水槽の中を泳ぐ様子は優雅で、見飽きなかった。

その次に思い出すのは、父がよそからもらってきた二匹のリュウキンのことだ。二匹とも、家に来た時は小さく、先に水槽にいた金魚たちの仲間は無事に入れるかどうか、少しばかり心配した。それは杞憂に終わったのだが、おもしろかったのは、二匹が水槽の中でいつもなんとなく一緒にいるように見えたことだった。一匹が一匹を追いかけ回すというような乱暴なことではない。金魚にふさわしい表現かどうかわからないが、「つかず離れず」というような感じで一緒にいるのだった。それは好ましい

ものように私には思えた。

さて、江戸時代も金魚は観賞魚として愛されていた。このコラムでも時々参照してきた『守貞謄稿』には、江戸・大阪・京都ではもっぱら夏に金魚を売ると書かれている。金魚の一種のランチュウについては「形小、尾大にして大腹のものあり。常に尾を上、首を下に游(およ)ぐ」とある。江戸ではランチュウを丸子(まるっこ)と呼んだ、との興味深い記述もある。

私の家ではランチュウを飼ったことはなかったが、かつて東京都内の公園でおこなわれていた金魚まつりに行った時、大きなケースに泳ぐたくさんランチュウを見た。尾びれの形が独特で、花が咲いているような美しさだった。

今は家族がメダカを飼っている。近所でたくさん生まれたのをもらってきたという。水槽代わりに使っているのは大きな火鉢である。長いあいだ使われていなかった火鉢をきれいに洗い、くみ置きした水を入れてメダカの住まいにした。日本は今年も猛暑だが、水草のホテイアオイの下で、小さなメダカたちは元気に育っているらしい。

## 私のドリームホーム ②①



最初にアーキテクトがリノベーションの申請可能な時期から半年ほど遅れての申請でした。そしてここからがまた長い待ちになるということでした。よく話に聞くのは半年待ちはもちろん1年くらい待つこともあるということで、そのほとんどが申請中にまた色んな調査や書類が必要になるからとも聞いていました。私達の場合はカウンシルから人が何回も来て、ダブルガレージの上に予定していたガーデンのデザインを変えられたり、道路から上がってくる階段脇のガーデンのデザインを変えられたりその度にアーキテクトが図面を書き換えていきます。もともとそれほどガーデニングが好きではなかったので、

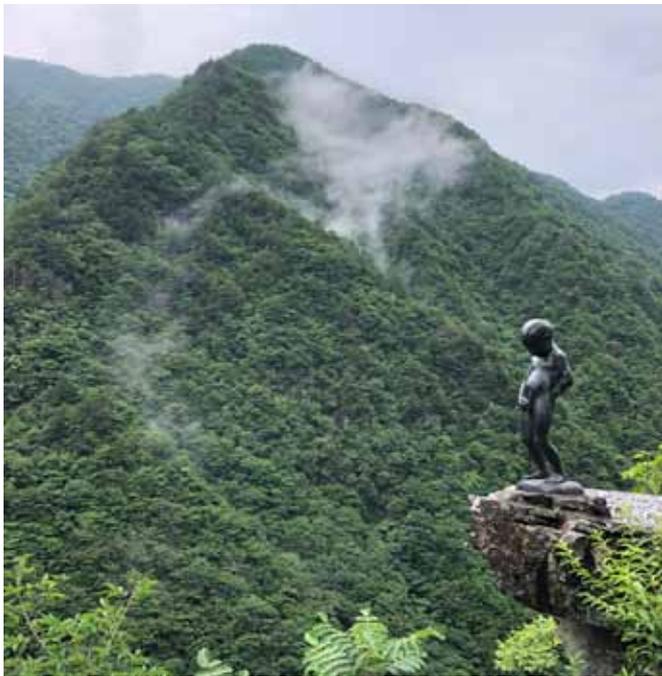
ガーデニングがあまり必要でないような設計にしてありましたが、カウンシルの要望は土地に対して30%は緑の芝生であることという規定があり、敷地内にあるシェドを取り壊した跡地も芝生になる予定です。それはそれほど悪いことでもありませんが、すでにレンガを敷いてある場所もすべて掘り起こし、そこにも芝生を敷かなければなりません。ガーデニングがそれほど得意ではない私達にとっては芝刈りだけでも大変な仕事です。

こうして私達はアンダーピンスペシャリストのビルダーと話を進めることにしました。杭を減らした図面を基にアーキテクトがカウンシルに申請する書類を整えることから始まりました。ここでももちろんお金が掛かります。申請料に加えてカウンシルが必要と思われるルートマップに木を守るための書類を作成してもらい、実際にリノベーションが始まる前には木を保護してもらわなければなりません。昔はこんなに沢山の書類は必要なかったのですが、今は配管を新しくしたり、ウォータータンクの設置と木の保護などカウンシルの要望が際限ないように感じます。私達のアーキテクトは家のリノベーションの図面15枚とその他諸々の書類一式を揃えやっとカウンシルに申請することができました。ここまでで実に1年半の月日が経っていました。(マイホーム)



## My Favorite Photo

自分にとって忘れることのできない写真、いつも飾っている思い出の写真、二度と撮れないシャッターチャンスの写真、大好きな人・有名人・尊敬する人との記念の一枚…など、My Favorite Photoを文章とともにお送りください。



## 祖谷の小便小僧

四国徳島の秘境に大歩危祖谷温泉郷という温泉旅館があるのです。ここは日本三大秘境のひとつ「祖谷」(いや)や、景勝地「大歩危」(おおぼけ)があり、美しく雄大な自然の中、温泉に浸かって心も体も癒そうとはるばるやってきたのです。なにせ、車1台がやっと通れる山道で、右は眼下に谷川が流れ、左は急峻な崖。しかも曲がりくねった道路はいかにもドラマに出てきそうで、ハンドル握る両手に汗が…。恐々と走ること1時間ほどで前方に宿の建物が見えたとき！なぜか道端に小便小僧の像が…！「なんで?」。しかも小便小僧の足元には小銭が所狭しとあるではないですか。小便小僧に投げ銭で、何のご利益が?っていうか、四国の山の中に何で小便小僧?ここはベルギーか?どうやら、この山道の道路工事の人足連中が、肝試しに崖の端に立って谷底の川めがけシャッターとやったとか。(大ボケな話だと思ったのですが…。)

# 外食日記



## Ceylon Rice Take-Away Auburn

住所: 33 Cumberland Rd, Auburn NSW 2144

電話: (02) 8084-0088

予算: \$20

営業時間: 火~日: 9:00-21:00

雰囲気 6、料理 8、サービス 7



今月はAuburnにあるスリランカ料理です。お店は駅から離れて住宅街の中にあります。Takeawayと店名にありますが店内で6人くらいは食事も可能です。一品目はSeafood Rice Meal。魚のカレー+野菜のカレー3種(選択可)とライスです。サバと思われる魚で、カレーはココナッツの香りがして南国の印象がありました。マッシュルームカレーは味付けが濃く、茄子のカレーは香ばしく濃厚な味わい、オクラカレーは粘り気は余りなくて、こちらも濃厚でした。

もう一品はLamb Kottu(写真)。Kottuとは現地語で刻むの意。ロティ(小麦粉の薄いパン)を刻んで具と炒めた料理です。また鉄板の上で刻む音に由来するという情報もあります。確かに調理場からはコツコツ、カンカンと聞こえてきました。玉ねぎ、人参、青唐辛子、長ネギ、各種スパイスが入っており、見た目より、しっかりボリュームがありました。

## 粉を巡って



AKIPANのパン作りで最も特徴的な点を挙げるとすれば、特定の小麦粉を日本から独自ルートで直輸入していることです。ベーカリーというのは通常、サプライヤーから供給される材料を基本とするので、小麦粉も必要量を都度オーダーすれば、都合の良いタイミングで届きます。また、一部のお店では地域の製粉会社などと共に、成分や性質にこだわった特別な粉を製造して用いる場合もあります。いずれにしても、小麦輸出大国であるオーストラリアでは、国内生産の小麦粉を使用するのが常識的であって、海外から製粉された小麦粉を持ってくるというのはレアなケースになります。そして粉の輸入に際してはトン単位での仕入れになるので、その荷受けや保管のための倉庫が必要になります。加えて、発注から届くまで数ヶ月かかるので、その発注タイミングも簡単ではないのが実情です。

現在お店では異なったパン作りのために、日本産輸入小麦粉4種類と、オーストラリア産小麦粉7種類を使い分けています。ビジネス的な観点で見るとあまり賢いやり方ではないかもしれませんが、膨大な経費がかかり、ハンドリングも複雑です。しかし僕自身が作りたいパンを作り、その味をオーストラリアの方に知ってもらうための手段、という視点では、日本の職人が作り出すきめ細かな味やテクスチャーの違いを生み出すための、必然であると思っています。

店のシグネチャーと言えるメニューに使用しているのは、北海道産小麦を使用した「春よ恋」という銘柄で、日本のご自宅などでパン作りをしていた方の中には、知っている方もいるかもしれません。レシピを作る際にはいくつもの粉を試していますが、元々僕が好んで使っていた銘柄がやはり良い結果を出してくれたため、当時日本から輸出された事のないこの銘柄を手に入れられるよ

う交渉を重ね、様々な手続きを経て実現したものです。

今現在も日本へ帰っては、様々な粉を持ち帰りテストを重ねていますが、その効用のひとつとして、オーストラリアの製粉会社数社からも興味を持たれ、どういった成分の粉を求めているのか、といったディスカッションを持てる事です。このことは店にとって非常に有用で、メニューの拡充に大いに役立っています。

しかし、日本のお米が冷めても美味しいことと同様に、日本産の小麦粉とオーストラリア産の小麦粉では、成分の数値だけでは表せない性格の違いが絶対的にあります。それはパンを焼いた翌日や数日後の食感や香りに如実に現れたりするのですが、この埋め難いギャップを小さくしていくために、日本の特殊な粉をブレンドしてみたりと、オーストラリア国内生産の小麦粉を自分なりに活かす方法を模索中です。実際に店のメニューにあるオーストラリア産小麦粉を使用した食パンには、いくつものブレンドパターンを採用しています。そして、最近新たに良い結果を生んでいるのが、米麴です。米麴を用いた製法は日本でも比較的新しい技術で気になっていたところ、日本のメーカーが丁度店を訪ねてくれたので、即買い付けて採用したものです。新しい食パン「White Koji Pullman」は、今あるメニューの中で最も軽く内層の柔らかい食パンで、焼き色も薄く仕上げています。何はともあれ一度試していただき、感想をお聞かせいただけたらと思います。

もうひとつ自慢の商品は「春よ恋」の派生銘柄を使用している「Green Berry」と名付けたハードブレッドです。全粒粉とライ麦をミックスし、合計で40時間以上の発酵時間を使って丁寧に焼き上げる贅沢な天然酵母パン。宇治産の上質な抹茶と相まって、クリームチーズとクランベリーがコクと甘みを加えています。スライスしてどうぞ！

# Hiroの音楽最高！



どうも、Hiroです！シドニーは雨がっていますが、いかがお過ごしでしょうか？

今回のおすすめの曲は、ABBAの「Thank You For The Music」です！

ご存知の方がたくさんいらっしゃると思いますが、ABBAはスウェーデンの超有名な男女四人のグループで、70年代に世界中を一斉風靡しました。「Dancing Queen」はじめ数々のヒット曲があり、今でも世代を超えて人気のある曲もあります。

今回「Thank You For The Music」を取り上げたのはほかの曲と違いミュージカルの曲のような、歌い上げる感じの歌であり、音楽が生活の大きな部分を占める私にと

っては特にとても身に沁みるメッセージをもつ歌詞なんです…。実はもっと子供の頃はそんなにABBAの音楽が好きというわけではなかったのですが、この曲を聴いてすっかり魅了されました。美しいメロディーと歌声は無条件に心に響くと思ひ知らされたことを思い出します。特にこの頃は、若いころ何気なく聴いてたものも含めて、昔聴いた音楽を再度聴いていろいろ思いを馳せることが多くなりました！

まだ寒い日もありますが、温かいコーヒーでも飲みながらお天気の良い午後にも、一度この曲を聴きなおしてみたいかがでしょうか？

## ワインの話



「ワインの話」では、リーズナブルなプライスでありながら、クオリティの高いオーストラリアのワインを紹介します。

### Tread Softly Prosecco

★★★★☆

Proseccoのスパークリングワインで飲みやすい。実際このブランドはアルコールを通常のワインより少なめにしており、飲んでみると確かに少しライトで

ありながら梨やアップルの風味があり、夏に合うスパークリングという感じ。

会社の方針として1ケース売れるごとに木を植えるというサステイナブルなシステムでWestern Australiaで2019年以来200万本以上の木を植えてきているという。

そして何よりもレーベルやパッケージングが良くて衝動買いしてしまう。暖かい日にお勧めのワイン。



## 【JAPAN EXPO×シドニー/名古屋姉妹都市45周年記念イベント同時開催！】

日時・場所：10月25日(土)シドニータウンホール

シドニー⇄名古屋往復航空券が当たるラッキードロー！

来場者全員に限定ギフトバウチャー(日本食レストランの割引やフリーギフト)

日本直送の食品試飲・試食多数！

伝統文化ワークショップ、ステージパフォーマンスも日本から多数！

チケット好評販売中！ <https://www.eventbrite.com.au/e/1252551087019>



主催：J CULTURE SYDNEY 協力：名古屋市、在シドニー日本国総領事館

本誌「JCSだより」の読者の方に、入場チケット2枚×2組をご招待します！

ご希望の方は、お名前、メールアドレス、電話番号と、「Japan Expoチケット希望」と明記し、9月末日までに、マーン編集長までご応募ください。(k.murn@jcs.org.au)

読者  
プレゼント  
実施中！



2025年、6年経った今でも、ミシュランガイドフランスでのアジア人店舗の三つ星は「Restaurant KEI」1店舗のみと書かれていました。映画の中に聞こえてくる包丁を使う音、ガスバーナーに火を入れる音など、もうすでに私の耳を刺激してくれました。そしてもちろん見目麗しい飾りつけも素敵でした。フランス料理はかたくなに伝統を守り続けているのでしょうか？いろいろな国のスパイスや美味しい物を取り混ぜたグランメゾンパリに三つ星は輝くのでしょうか？  
(★★★★★ 青い鳥)



感想② ドラマなんだけどリアリティがある。料理と人間ドラマが交差する最上級な料理映画だ。豪華な食材、芸術のような盛り付け…。まさに料理はアートだ。映像がとにかく美しい。料理のシーンが美しいのはもちろんだが、パリの街並みもすてきだし、すべてのシーンが絵になる。ビジュアルやサウンドから、皿の温度や香りまで伝わってくるような…。映画館にいるのに、まるでレストランにいるかのような感覚になった。キムタク、鈴木京香、富永愛など、年齢を重ねたキャストのカッコよさが際立っている。夢にチャレンジする熱いストーリーが、いい感じに歳を重ねたキムタクに合っている。料理に真摯に向き合い、より高みを目指す尾花とキムタクが重なる…。ストーリーは直球で、恋愛などを盛り込まず、三つ星を取ることに絞り込んでいたのがよかった。観終わった後、久しぶりに、フレンチが食べたい！って気分になった。

(★★★★★ ケーエム)

感想③ 物語の大筋は観る前からほぼ予測できたのだが、なんといってもミシュラン三ツ星を狙う本格フランス料理の映画。よくテレビで観る料理番組とは別次元の、一皿ごとに洗練された美しい盛り付けや色彩のバランスには目を瞠るものがあった。特に料理のシーンは見ごたえがあり、温度や香りまでも感じられる気がした。高級食材がふんだんに使われているので、コース料理はいくらくらいチャージすれば元が取れるのかなあ、といらぬ心配をしてしまった。パティシエの借金問題に関するいくつかのエピソードは、あまり本筋とは関係ないわりに比重が大きすぎるように感じた。ここ数年、日本に帰った際には一度はフランス料理店でコースを楽しむことにしているが、料理だけでなく、食器や盛り付けも芸術的で美しく、毎回とても堪能している。料理はもう少し早く出てきても良いなど、ひそかに思っている。

(★★★★★ 寒椿)

## グランメゾンパリ

監督：塚原あゆ子

脚本：黒岩勉

音楽：木村秀彰

料理監修：小林圭

出演：木村拓哉、鈴木京香、富永愛、及川光博、沢村一樹、オク・テギョン、正門良規、玉森裕太、吉谷綾子、中村アン

### ●作品概要

2019年にテレビ放送された「グランメゾン東京」のパリ篇。グランメゾン東京では世界最高の三つ星レストランを目指し奮闘するストーリーでしたが、今回は舞台をパリに移して三つ星レストランを目指す話です。映画中に出てくるフランス料理監修は実際に2020年アジア人初となるフランスの三つ星を獲得した「レストランKEI」の小林圭さんです。

感想① 日本語で映画が見られるのがこんなに嬉しいことだとは思いませんでした。映画中に出てくる料理の日本語での説明は富永愛が担当。その声がとっても穏やかで気持ち良い声と相まってよだれが出てくるくらいでした。料理監修をしている小林圭さんは2020年にアジア人として初の三つ星獲得をしたシェフですが、





## 【第45回】

### 英語勉強法(3) 辞書

私の日本人生徒達をみていると、一生懸命勉強しているのになかなか英語が上達しない、ということがよくみられます。日本における英語教育が受験を目的とした教育だからなのか、学習の仕方が日本的だからなのか、みんな英語を日本語で学習しているのです。言語を学ぶということは言葉だけで考えるのではなく、その時々状況を生活習慣や文化などを踏まえた上で考えていかなければなりません。今回は、頭の中を英語で考えていく秘訣をいくつかに分けて説明していこうと思います。

**辞書:**これが英語学習を妨げている媒体の一つです。

一つの単語を辞書で調べてみると、いくつもの意味がでてきますよね。これはまさに色々なシチュエーションで表現方法が違うから起こることなのです。でもそこに出てくる色々な和訳で、生徒はどの和訳を選ぶかで時間を費やしてしまいます。これは誰もが同じ経験をしたことがあると思います。名詞に関してはそれほど大きな違いはない場合が多いです。たとえば“apple”は“りんご”でほぼ間違いありません。ところが動詞は厄介です。たとえば“take”を辞書で引くと、もう何が何だかわからないほどたくさんの意味が出てきます。さて、どの和訳を使おう?となるわけです。“have”だって“持つ”だけではないですからね。特に動詞の場合はその後続く前置詞によって色々な表現に変わっていくわけです。とにかくもうこの時点で頭の中はもはや完全に日本語になっているのです。でも、このように辞書にたくさんの和訳がある言葉は一見すべて

違う意味のように思えますが、一つ一つの単語が持つ本来の意味から発生した表現がほとんどなので、その単語の意味さえ分かれば、その時々シチュエーションでなんとなくの意味が分かるようになるのです。前置詞と組み合わせた時も同じです。その単語が持つ意味合いがわかっているならば、takeでもhaveでもgetでも、なんとなくニュアンス的にわかっていくものなのです。

ではどのようにしてボキャブラリーを学べばいいのでしょうか?まず、単語帳などを使って意味を書く時、辞書で調べたたくさんの和訳からそれらしいだろうと思われるものを選んで枠の中にきれいに収まるように意味を書くのをやめましょう。“こんな状況の時にこんな感じのものがこんな状態になるような感じ”のような意味を書けばいいのです。無理に一つの言葉で書く必要なんかないのです。むしろこの方が英語の意味が本当によく学べます。言葉だけで考えるのではなく、その時々状況を考えて学ぶのです。単語の意味なんかははっきりわからなくていいのです。“こんな感じの意味”で十分です。どのようなシチュエーションなのかを頭の中でイメージする。そして単語帳には文字ではなくて絵を描いてもいいのです。それが特に日本人の生徒は単語帳にきれいに意味を書こうと思うところが大失敗。その時々での状況をぐちゃぐちゃ書き込んだ方がよっぽど理解できます。

次に、英語に慣れてきたら英英辞書を使いましょう。これは英語で意味が説明されているのもっと状況が見えてくるのですが、英和辞書と同様いろいろな説明が出てきます。どの意味なのかをネイティブの人(先生など)から説明を受けるのが一番理解できるでしょう。とにかく文字に表すのではなく、どんな感じの意味なのかを頭の中で理解することです。

では次回は英訳について述べていくことにしましょう。

(注) 写真の英和辞書はOxford社の「Pocket Kenkyusha Japanese Dictionary」、英英辞書はCollins社の「Australian School Dictionary」からのものです。



# 進め!

## 第31回 ファクトチェックが通じない社会 マルチカルチュラルイズム

by.Yushiro

7月に日本で参議院選挙があり、与党が過半数を取れずに、昨年の衆議院選挙同様、参議院でも少数与党という結果になりました。その選挙で大きな話題になったのが、「日本人ファースト」という言葉と外国人を排斥する大きな声でした。どうやら日本でも排外主義が台頭してきているのではないかと気になりました。

声高に「日本人ファースト」を叫び、外国人が不動産を買いあさり、外国人の犯罪が増え、外国人が優遇されているという声が広がり、その結果、外国人を差別する排外主義がついに日本でも大きくなってきているようです。しかし本当に外国人の犯罪は増えているのでしょうか？外国人は過度に優遇されているのでしょうか？

### 2.9% vs 3分の1

選挙期間中、「生活保護受給者の3分の1は外国人」という噂が広まりました。SNSの投稿を中心に広まったようです。しかし、生活保護を受給している外国籍の方は実際は2.9%しかいません。調べたところ、毎月の受給者数を、年間のべ総数と取り違えた計算方法の間違いだったようです。それでもフェイクが広がっていきます。

また、外国人の犯罪は増えているのでしょうか？「犯罪白書」などの統計データによると、日本では2004年に外国人が197万人いたのが、2024年には377万人と2倍近く増えました。その間の刑法犯認知件数は全体で256万件から74万件へと3分の1に減りました。つまり犯罪自体が減っている傾向にあります。その中で外国人の刑法犯検挙件数も3.2万件から1.3万件と減少しています。つまり外国人の数は増えているにもかかわらず、外国人による犯罪自体はむしろ減っているのが実態です。外国人によって治安が悪化したり、重要犯罪が増えているとは言えないのです。加えて、「不法滞在者が増え続けている」という主張もありますが、法務省のデータでは、不法残留者は20年前の4分の1に減少していて、ここ数年は横ばいということなのです。

### 外国人は過度に優遇されている？

「外国人が日本人の仕事を奪っている」という噂も広がっています。確かに東京でコンビニに行くと、店員は外国からの留学生がほとんどですし、ホテルのスタッフも外国人ばかりです。でもそれって、日本人がやりたがらない仕事を外国人がしているのではないですか。給与も日本人と競合しているわけではなく、企業は労働力不足解消のため外国人を雇用しているだけでしょう。専門家も「外国人は日本人がやらない仕事を受け持っていて競合しないため、国内全体の賃金には影響しにくいとも言えます」と言っています。

### マナーの悪さを排外主義に転嫁

ではなぜ、事実でもない噂がまことしやかに広まってしまうのでしょうか。その背景には、物価高にあえぐ日本社会の現実があります。「あいつらのせいで日本人は貧しいんだ」「あいつらは得している」「暮らしが苦しいのは外国人のせいだ」と、誰かを不満のはけ口にすることで溜飲を下げるやり口です。「外国人」は格好のターゲットなんですね。よくニュースで目にする外資による不動産購入や、インバウンドによる外国人観光客の消費行動など、日本人にとって外国人排斥の物言いが簡単に受け入れられやすい背景があるようです。

そこにデータやファクトを示してそうじゃないよと言っても、体感的な外国人に対する負の感情は、なかなか消えません。外国籍の住人のごみ出しルールの無視や、満員電車で大きなスーツケースを抱える観光客、グループで大きな声で騒ぐ連中など、日常的な小さなマナーの問題が積み重なって、「だから外国人は…」という感情になってしまいがちです。日本語の理解度が低く、日本人が常識と思っているマナーにも馴染みがないため、日頃から接してお互いを知ることが大事です。

### 世界最強 vs 17%

日本のパスポートはビザなしで渡航できる国の多さから「世界最強」ともいわれていますが、一方で、パスポートを持っている日本人は人口比でわずか17%。6人に一人しかパスポートを持っていません。オーストラリア人の保有率は約55%で、半数以上がパスポートを持っています。主要国も、英国(77%)カナダ(70%)フランス(50%)ドイツ(80%)米国(50%)台湾(60%)韓国(42%)と、日本人の保有率は極端に低いのです。

なぜそんなに低いのでしょうか？海外旅行に興味がないということでしょうか？理由として考えられるのは、世界で戦争やテロが起きていることからくるリスク、そもそも暮らしが苦しくて経済的に余裕がない、それにネットを通じて世界中の情報が得られるので行く必然性がない、そんな理由が考えられます。

こうして海外体験のない人が増え、外国人とコミュニケーションをとる機会がなくなり、その結果、外国人を自分とは異なる人という意識が強くなっていきます。いくらコミュニケーションが大事だ、お互いに言葉を交わすことが必要だと言われても、そもそも海外体験がないのでイメージができないのです。そこにSNSを通じた様々な物言いに、日常的なほんの少しの感情が我が意を得たりとばかりに同調し、賛同し、勢い外国人差別に転じてしまう。そこにファクトチェックは通じないのです。

# 大きな声では 言えない話



## バイリンガル?!まさか!!!

日本語教育は中卒まで、海外生活が13歳から…と、人生のほとんどを日本以外の国で過ごしている私。「バイリンガルでいいですね」なんて言われ、苦笑いでごまかしているが、完全なるバイリンガルの人がいたら心から尊敬してしまう。

高校からは英語での教育を受けてきたうえ、最近まで英語を使って勉強もしていた。しかし、英語の壁は果てしなく厚い。ネイティブからは程遠く、いまだに基本的な冠詞などのミスや発音ミスもあり、グラマリーにお世話になっている。簡潔に要点をしっかりと伝えられる英語力はやはり読書などで地道に培っていくしかないようだ。

かといって日本語もネイティブとは言えないのが辛いところ。日本語での読書は嫌いではなく、お恥ずかし

ながら大学では日本文学も専攻だった。しかし、ちょっとした言葉遣いを間違えることがたくさんある。私の日本語に違和感を感じても友達は遠慮してか直してくれない。そんな時、ありがたいのが4歳年上の姉。小学校からずっとオール5タイプの(私と違って)姉は、ズケズケそしてグサグサと直してくれるのでありがたい(汗)。例えば、「適応」と「適用」の違い。発音が似ているのでごまかしていたようだ。「胡散臭い」という言葉もちょっと前まで「何となく疑わしい、怪しい」というニュアンスに加えて「うっとうしい」という意味合いも含んでいるとばかり思い込んでいた。

というわけで言葉もネイティブを意識すると容易でない。毎日使うからこそ少しずつでも学び続けていきたいものだ。  
(かっちゃん)



## ここが気になる

### 犬のしつけ



16カ月半のティーンエイジャー、ラブラドルに手がかかっています。数ある問題の中でも特に気になるのは地面を掘りまくること、そして、水たまりを見つけては飛び込むこと。家にトレーナーを呼んで、地面を掘り

まくるのを解決するにはどうしたらよいか聞いたら、小さなプールを庭に置いて砂を入れ、そこを掘るよう誘導するようにと。実践しましたが、雨水がたまって今では緑色のプールになっています。ドッグパークではすべての犬に声をかけに行くので、愛されキャラではありますが、さすがに泥水に飛び込んだ後、体を振って水しぶきを飛ばしまくるのは大迷惑。ポジティブレインフォースメントをトレーニングで習得中ですが、一世代前の人たちは、いうこと聞かないときは体罰を与えるべきと。様々なしつけ方がある中、どこまで厳しく、どこまでを許すか、常に気になっています。そして、悲しいことに、夫は犬を溺愛しているので、夫婦で足並みをそろえるのなかなか時間がかかるのです…涙。

## スポーツ天国



### Women's Rugby World Cup

8月22日からイングランドで開催されている、女子ラグビーワールドカップ。日本代表は、アイルランド、ニュージーランド、スペインと同じ組で、この誌面が出る頃には、日本代表はスペインと対戦中かも。(9月7日午後9時:シドニー時間)

現在世界ランク11位の日本は、まだ決勝トーナメン



トに進んだことがありません。男子代表に続いて、女子もジャイアントキリングを期待しましょう!(ぴか)

会員の皆さんからの情報も受け付けています。Eメールは、kenerit@gmail.comです。よろしくお願ひします。(ぴか)



# 仏教語からできた 日本語 その228

渡部重信  
sydneyhongwanji@gmail.com  
浄土真宗本願寺派[西本願寺]  
オーストラリア開教事務所長



# 法律Q&A 弁護士に 聞いてみよう 213

主任弁護士 林由紀夫 (H & H Lawyers)

## 地位(じい)

今年5月、1958年の年6場所制以降で初土俵から最速で横綱の地位に昇進した大の里泰輝(おおのさと だいき)と言う力士が脚光を浴びていますが、彼は私の故郷石川出身で、幼い頃妹の勤める保育園に通っていたとても身近な力士です。その他に、あの人は会社で責任ある地位についている、この人は指導的な地位にある、という風に使ったり、日米間での地位協定、とか言う際にも使われる言葉です。この様に現代語としての「地位(ちい)」は、その人や国、物事の相対的な位置とか、身分や関係の上下を表わして「地位」という言葉自体に何か特別の意味があるわけではありません。しかし、仏教語としての「地位(じい)」は、極めて重要な意味を持っています。

仏教語の地位は、菩薩が仏になるために必ず経なければならない道のことです。菩薩と言えば、観音菩薩や文殊菩薩の名がよく知られ、人々の信仰を集めていますが、元は仏教の精神そのものを表現する言葉でした。観音や文殊は、その精神を人格的に表して、その菩薩が仏になる道を「菩薩道」と言いますが、大乘経典でこれを中心的に説くのは『華嚴(けごん)経』です。この経典は、あの東大寺の大仏の根拠となっています。つまり、大仏は偉大な菩薩精神が完成した姿を表わすとされ、大仏を説くその経の功德も絶大であり、古代から良く学ばれ、写経の際にも重要なテキストの一つとなっています。その『華嚴経』が説く菩薩の道を「十地(じゅうじ)」と言い、その他の課題と区別して、この十地を特に「地位」と言います。『華嚴経』は「十」を完全な数と見て、あらゆることを「十」の観点から説いています。また「地」とは地面のことで、拠り所を意味しています。菩薩はしっかりと地面を踏みしめながら、仏となる道を歩んで行くとの意です。また、十地の歩みの中で最も重要なことは、初地に立つことであると説き、その為には、自らの課題(願)と清らかな行い(善)が揺ぎ無いものとなっていなければならないと説いています。その上で初めて、本当の歩みが始まると言うのです。つまり「地位」に就くことは、始まりであって目的ではないのです。その始まりに立つために、揺ぎ無い決心と相応の実力が必要だと説いているのです。例えて言えば、社長などの高い地位に就くことは、結果であって決して目的ではないと教えているのです。合掌

## オーストラリアの財産分与契約(BFA)について

**Q:**今年50歳を迎える会社経営者です。今付き合っている彼女と結婚することを考えています。会社も順調で個人資産として自宅、預金、投資物件を合わせ約3,000万ドルあります。彼女は20代で資産は銀行預金約7,000ドルと聞いています。私は30代の時に離婚した際、築いた資産の半分近くを前妻に取られてしまいました。このような事態を避けるため、結婚前に「万一、別れることになった際の資産の分配につきあらかじめ取り決めをしたい」と思っています。そのような取り決めはどう行う必要があります、どのようなリスクが伴うのでしょうか？

**A:**結婚前に将来の財産分配を取り決める場合、Family Law Actに基づくBinding Financial Agreement (BFA: 財産分与契約)を締結するのが良いと思います。これはいわゆるPrenup契約のことです。BFAを結ぶことで、将来離婚や別居となった場合に、裁判所による財産分配の決定に代わり、分配は契約で定められた内容で行われることとなります。それにより、離婚などで資産が大きく減少するリスクを軽減できるようになります。

BFAを有効にするためには、法律で定められた要件を厳格に満たす必要があります。特に重要なのは、双方がそれぞれ独立した弁護士から法律的助言を受け、その証明を契約に添付することです。これは「一方が理解せずに署名させられた」という後日の争いを防ぐための必須条件です。また、資産や負債の開示を正確に行うことも不可欠で、隠し事があれば契約が無効になる恐れがあります。

BFAを作成したからといって絶対に安心というわけではありません。①詐欺や資産隠しがあった場合、②強要や不当な圧力の下で署名した場合、③子どもの利益を著しく害する場合、④契約当時の状況が「著しく不公正」であったと判断される場合、裁判所は契約を無効化できる権限を持っています。ただし、透明性のある交渉を行い、双方が独立した弁護士の助言を得て十分理解したうえで署名すれば、裁判所が一方的に介入する可能性は低くなります。

実務上は、契約内容を「一方的に資産を守る」形にし過ぎると、将来裁判で覆されるリスクがあります。したがって、例えば「婚前の資産は本人に帰属させ、結婚後に築いた共同資産は一定割合で分ける」といった合理的なバランスを意識することが重要です。加えて、結婚生活が長期化した場合や子どもが生まれた場合には、当初の契約内容が妥当性を欠くこともあり、その際には契約の見直しを行うのが望ましいといえます。

## ●今月の表紙 Yakushima, Kagoshima

This small island, a UNESCO World Natural Heritage site and the inspiration behind Studio Ghibli's Princess Mononoke, is home to some of Japan's most awe-inspiring natural wonders. Less accessible than other destinations in Japan, Yakushima has remained largely untouched. Its ancient Yakusugi cedar forests - some trees believed to be over 7,000 years old - create an atmosphere that feels almost otherworldly. Thanks to its steep terrain and exceptionally high rainfall, the island is also rich in waterfalls, adding to its lush, mystical landscape. On clear days, you might even catch a glimpse of a rocket launch from neighbouring Tanegashima.



Photo and comments by David Jang

## 編集後記

▼今年は、終戦80周年でした。8月16日JCSが主催した「戦後80周年記念イベント - Pass the Baton -」では、広島在住の被爆者であり平和活動家の小倉桂子さんをお迎えし講演を行い、たくさんのオーストラリアの学生さんに参加して頂きました。平和を伝える貴重なイベントになったと思えました。▼日本では、夏休みも終る頃ですね。8月のお盆休みになると思い出すが、小学生の夏休みに行っていた香川県のお婆ちゃんの家で見た「精霊流し」です。▼故人の精霊をあの世へ送り出すために、藁や木で作った船にお供え物を乗せて川や海に流します。「無事に極楽浄土までたどり着けるように」という願いを込めて、故人にとって初めてのお盆である「初盆(はつぼん・ういぼん)」の終わりに行われます。お婆ちゃんの地域では小さな木の船に果物や花のお供えをして提灯にロウソクを灯し、川に流します。夜の川に提灯が灯された沢山の船が流れる風景は、幻想的で今でも忘れられません。

## シドニー日本クラブ役員

名誉会長	在シドニー日本国総領事
相談役	Chalker 和子
会長	渡部 重信
副会長	Costello 久恵
副会長	水越 有史郎
理事	阿部 直子
理事	齊藤 なお子
理事	Hodgkinson 恭子
理事	堀場 健太
理事	葛西 哲也
専門理事	林 さゆり(親睦の会会長)
専門理事	Murn 薫(編集委員会編集長)
専門理事	Costello 久恵(シティ校代表)
専門理事	小柳淳子(ダンダス校代表)
専門理事	水越 有史郎(教育支援委員会・エッジクリフ校代表)
事務局	松隈 由紀子(事務局長)・Richter 幸子(会計)
監事	岩佐 いずみ(会計監査)・多田 将祐(会計監査)
クラブ代表	シドニーソーラン踊り隊(渡部 重信) JCSフラアロハ(Gault 良子) ソフトボール部(安達定儀)
編集委員会	マーン薫(編集長)・渡部重信・水越有史郎 西牟田佳奈・佐藤 薫・大塚藤子・林由紀夫・多田将祐 坂口 潤・齊藤なお子・大塚るる・松下友紀



## 投稿原稿募集!

会員の方の生の声を募集しています。本誌を読んだ感想や、誌面に対する注文、会に対しての要望、日頃感じていることなど、何でも構いません。皆さんからの率直なご意見や、誌面に対する感想などが、今後の誌面作りに多いに役立ちます。また、絵や写真、詩、俳句、短歌などでも構いません。お気軽にお寄せください。原稿は、趣旨を変えない範囲で手を加える場合があります。文字数は最大1000文字です。投稿原稿は、誌面や内容、時期などの都合により掲載を見合わせる場合がありますので、ご了承ください。

## 告知板について

「告知板」は会員の方が「売ります」「買います」「教えます」など、個人の広告を掲載するコーナーです。会員の方なら、一回に限り無料で掲載できますので、ご利用下さい。

## JCSだより原稿送付先

原稿は毎月15日迄に、マーン薫編集長宛に、またはJCS事務局宛に、Email (k.murn@jcs.org.au)か郵送にてお送りください。

## JCS事務局連絡先

本誌やJCSに関するお問い合わせは、Japan Club of Sydney Inc.  
PO Box 1690, Chatswood NSW 2057 電話:0421-776-052 (9時~18時)  
Email:jcs@japanclubofsydney.org (松隈由紀子)まで。

# 会員特典

JCSの会員の皆さんが受けられる特典です。  
ぜひ、ご利用ください。

## 日本ブレーンセンターオーストラリア(NBCA)

Suite 23, 9 Milray Street, Lindfield 2070

Phone: 0404-027-407

Email: nbca.yamaguchi@gmail.com

www.nbca.com.au

担当: 人材 加藤、翻訳 山口

移民局に提出する戸籍謄本と書類の英語への翻訳をJCSの会員の皆様には20%割引で承っております。長期短期の人材紹介及び人材登録をきめ細かくお世話させていただいております。皆様のご連絡をお待ちしております。

## 甘利会計事務所

Amari Tax & Accounting

Suite 2, Level 2, 88 Pitt Street, Sydney 2000

Phone: (02) 9223-7448

Email: info@taxjp.com.au

新規顧客に特典

JCS会員の皆様のタックス・リターン申請・作成に当たり、料金から15ドルを割引いたします。お支払いの際にこのクーポンをご提示下さい。同時にお二人以上で申請される場合にも、1枚で全員に適用できます。

## ほんだらけフル・オブ・ブックス

Level 2, 39 Liverpool Street, Sydney 2000

Phone: 02-9261-5225 Email: hondarake@gmail.com

Website: http://fullofbooks.com.au

シドニー最大の日本古書籍買取・販売店。海外にいても手軽に日本の本・CDなど選べる嬉しい店内在庫8万点をご用意しています。買い取りも随時受付中。

JCS会員の方へは、本・CD・DVDのお買い上げを5%特別割引致します。JCS年会費支払いのコピーをご提示下さい。(セール商品や化粧品など一部除きます、ご了承下さい)

## 本誌広告案内

広告締切は毎月15日です。広告(掲載できるアートワーク)を、メールか郵送で、  
jcs@japanclubofsydney.orgまたはPO Box 1690, Chatswood NSW 2057まで送付ください。

広告スペース	広告サイズ	料金 (1回のみ)	会員割引料金 (1回のみ)	会員割引料金 (6~11ヵ月)	会員割引料金 (12ヵ月以上)
1ページ	横18cm×縦27.0cm	\$ 220.00	\$ 176.00	\$ 154.00(月額)	\$ 132.00(月額)
1/2ページ	横18cm×縦13.2cm	\$ 132.00	\$ 99.00	\$ 88.00(月額)	\$ 77.00(月額)
1/3ページ	横18cm×縦8.6cm	\$ 99.00	\$ 77.00	\$ 66.00(月額)	\$ 55.00(月額)
1/6ページ	横8.7cm×縦8.6cm	\$ 55.00	\$ 44.00	\$ 38.50(月額)	\$ 33.00(月額)

広告を申し込む際は、上記のサイズ・期間・料金を明記の上、完成された広告(正しい広告サイズで、読みやすく仕上がったアートワーク)を、事務局宛に郵送かメールでお送りください。銀行振込は以下の口座宛にお振り込みください。締切は毎月15日必着です。

※広告内容が本誌に相応しくないと判断した場合、掲載をお断りすることがあります。ご了承ください。

※JCSでは本誌掲載の広告内容に関しては一切責任を負いかねますので、その旨ご了承ください。

## 会費納入 料金

## 支払方法

### ■会費納入届または広告原稿を小切手と共にJCS事務局まで郵送する場合

小切手の宛名は「Japan Club of Sydney Inc.」でお願いいたします。

郵送先: Japan Club of Sydney, PO BOX 1690, Chatswood, NSW, 2057

### ■会費納入届または広告原稿を郵送またはメールで送り、会費を銀行振込する場合

振込時に、登録会員名(フルネーム)と電話番号をDescription/Reference欄に必ず入力して下さい。

お名前がない場合は、支払い元不明で未払い扱いになるためご注意ください。

振込先 Account Name: Japan Club of Sydney Inc. BSB No: 032-002 Account No: 51-3156

### ■会費納入届をオンラインでする場合 → <https://forms.gle/AD7bG13tdPCs2SJB8>

会員継続の場合は、会費納入届を  
提出してください。  
オンラインの場合は **こちら**